



Motion Studio
What's New – 更新内容
Version 2.12.00

1. 概要.....	4
2. WHAT'S NEW – 更新内容.....	5
2.1. フォルダー編成.....	5
2.1.1. カメラ1台の場合.....	5
2.1.2. カメラ複数台の場合.....	6
2.2. ダウンロード オプション.....	7
2.3. アクイジション コンフィギュレーションと画像の保存.....	9
2.4. ロウ コンバータ.....	11
2.5. オプション / カメラ.....	12
2.6. オプション / その他.....	13
2.7. カメラリスト.....	14
2.8. LUT (ルックアップテーブル).....	15
2.9. 自動露光.....	16
2.10. モーショントリガー.....	17
2.11. トリガー詳細設定.....	18
2.12. その他の変更点.....	19

Copyright © Integrated Design Tools, Inc.

The information in this document is for information purposes only and is subject to change without notice. Integrated Design Tools, Inc. makes no warranty of any kind with regards to the information contained in this document, including but not limited to implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. Integrated Design Tools, Inc. shall not be liable for errors contained herein nor for incidental or consequential damages from the furnishing

of this information. No part of this document may be copied, reproduced, recorded, transmitted or translated without the express written permission of Integrated Design Tools, Inc.

1. 概要

本書には、Motion Studio Version 2.12.00 のGUI で追加、改善、変更された内容の概略が記載されています。

2. What's new – 更新内容

2.1. フォルダ一編成

画像は下記のサブフォルダーで保存されます。

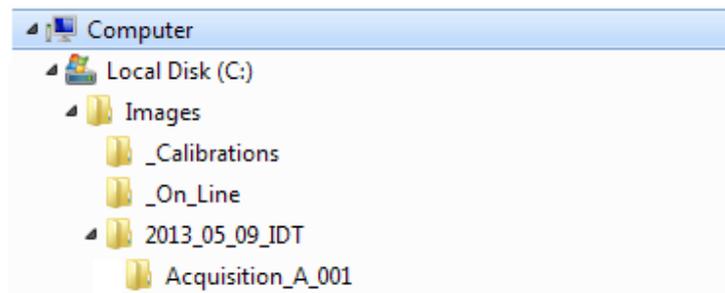
“画像フォルダー” / “テストセッションフォルダー” / “アキュイジションフォルダー”

画像フォルダーはダウンロードオプション ダイアログで設定が可能ですが、基本的には変更不要です。テストセッションフォルダーとアキュイジションフォルダーのレベルは“アキュイジションの保存”と“アキュイジションコンフィギュレーション”のダイアログボックスで設定できます。

AVI ファイルが保存されるフォルダーは通常の画像が保存されるフォルダーと異なる場合があります (下記をご参照ください)。

2.1.1. カメラ 1 台の場合

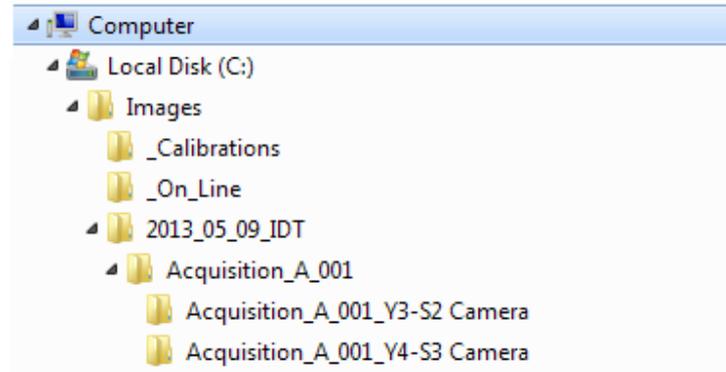
画像フォルダーが“C:/Images”、セッション名が“2013_05_09_IDT”、アキュイジション名が“Acquisition_A”、カメラが1台の場合、フォルダーは下記ようになります。



画像は“Acquisition_A_001”フォルダーに保存されます。

2.1.2. カメラ複数台の場合

画像フォルダーが“C:/Images”、セッション名が“2013_05_09_IDT”、アクイジション名が“Acquisition_A”、カメラが2台（名前が“Y3-S2 camera”と“Y4-S3 Camera”）の場合、フォルダーは下記ようになります。



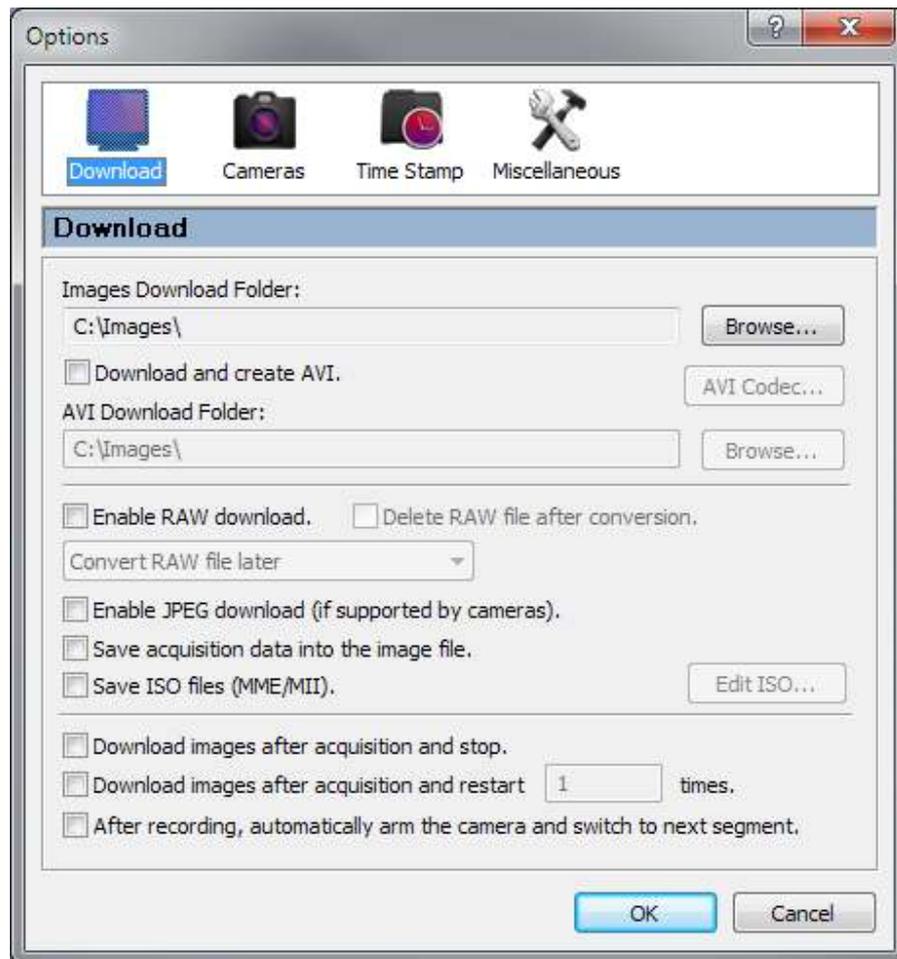
画像は“Acquisition_A_001_Y3-S2 Camera”と“Acquisition_A_001_Y4-S3 Camera”サブフォルダーに保存されます。

“**Save ISO Data**” オプションを選択した場合、“Acquisition_A_001.mii”と“Acquisition_A_001.mme”の2つのファイルが“Acquisiotn_A_001”フォルダーに保存されます。

“**Save AVI**” オプションを選択した場合、各カメラサブフォルダーに同じ名前のAVIファイルが保存されます。RAWダウンロードが有効な場合は、画像をコンバートした際にのみAVIファイルが作られません。

2.2. ダウンロード オプション

ダウンロードの主な設定は“オプション一般”のトップページにあります。このダウンロードオプションは、“アキュイジションコンフィギュレーション”ダイアログボックスまたは“アキュイジションの保存”ダイアログボックスからも選択できます。



現在のデフォルト画像フォルダ

これはセッションフォルダ、アキュイジションフォルダ、画像が保存されるフォルダです。“ブラウズ”をクリックしてフォルダを変更することができます。

ダウンロードしAVIを保存

このオプションにチェックを入れると、通常の画像をダウンロードした後にAVI ファイルをダウンロードします。画像とAVI ファイルのダウンロード先を分けることも可能です。

AVI コーデック

AVI コーデックを編集することができます。

AVI ダウンロード フォルダー

画像とAVI ファイルのダウンロード先を分けることも可能です。また“ブラウズ”をクリックしてフォルダを変更することができます。

高速ダウンロード

このオプションにチェックを入れると、ロウメタデータ形式でカメラが画像をダウンロードします。このダウンロードと保存が行われると、通常の画像形式にコンバートされます。この変換は、自動的に開始する(“ダウンロード後にコンバート”)か後程行うか(“後でコンバート”)を選択することができます。“コンバート後にロウファイルを削除”が選択されていると、コンバート完了後にこのロウファイルが削除されます。

JPEGでダウンロード

HGシリーズ及びY-シリーズカメラでは、直接JPEGダウンロードが可能です。画像はカメラのファームウェアによってJPEGにコンバートされ、PCに送られます。Motion Studioは送られてきた画像をそのままハードディスクに保存します。

情報を保存

録画データを画像ファイルに保存します。このデータには温度、画像インデックス、露光時間、フレームレートなどが含まれます。

ISO MME/MII データを保存する

MME/MII ファイルが作成され、アキュイジションフォルダーに保存されます。“ISO データを編集”をクリックし、MME/MII スtringを編集することもできます。

アキュイジション後に画像をダウンロードし停止

録画が完了次第、Motion Studio が画像データをハードディスクに保存します。

アキュイジション後に画像をダウンロードしリスタート “N” 回

録画が完了次第、Motion Studio が画像データをハードディスクに保存し、カメラが作動可能になります。この過程がN回繰り返されます。

録画後に、カメラを作動可能にし次のメモリーセグメントへ切り替える

カメラのメモリーにセグメントが切られていてこのオプションが選択されている場合、現在のセグメントが完了次第 Motion Studio が自動的に次のセグメントに切り替えます。

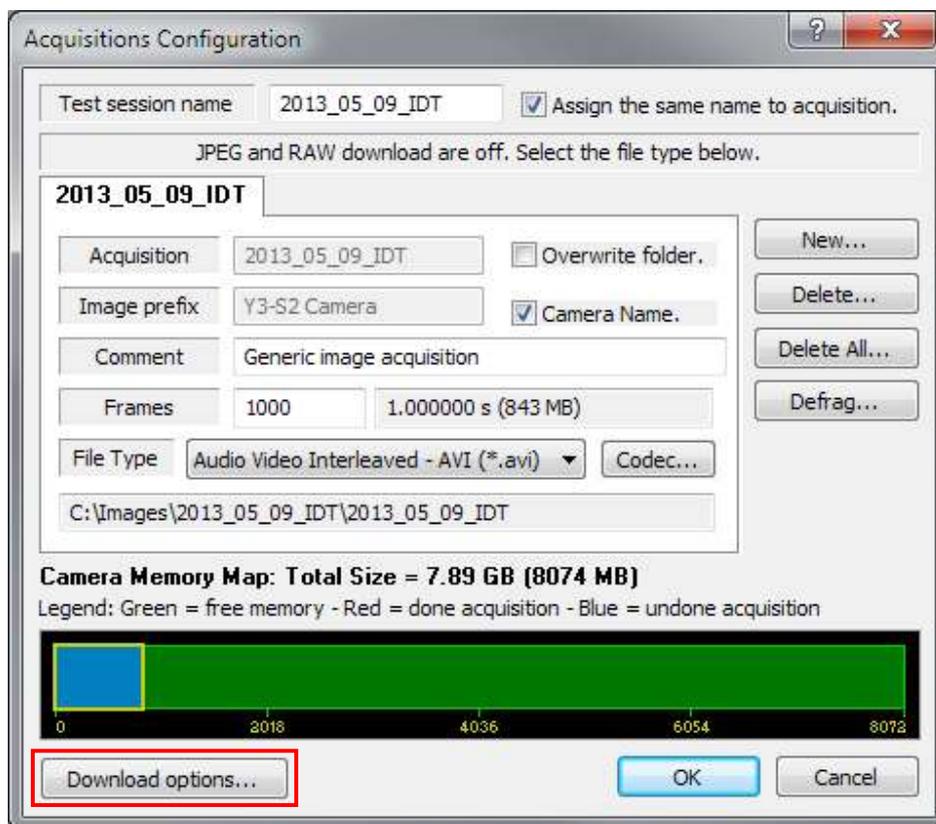
2.3. アクイジション コンフィギュレーションと画像の保存

“アクイジションコンフィギュレーション”と“アクイジションの保存”のパラメータが変更になりました。

画像は下記のようなサブフォルダーに保存されます。

“画像フォルダー” / “テストセッションフォルダー” / “アクイジションフォルダー”

画像フォルダーは“ダウンロードオプション”から設定が可能ですが、頻繁に変更する必要はありません。



テストセッション名

このパラメータはテストセッションフォルダーの名前で、画像を保存する前に作られます。これには全てのアクイジションフォルダーが含まれます。

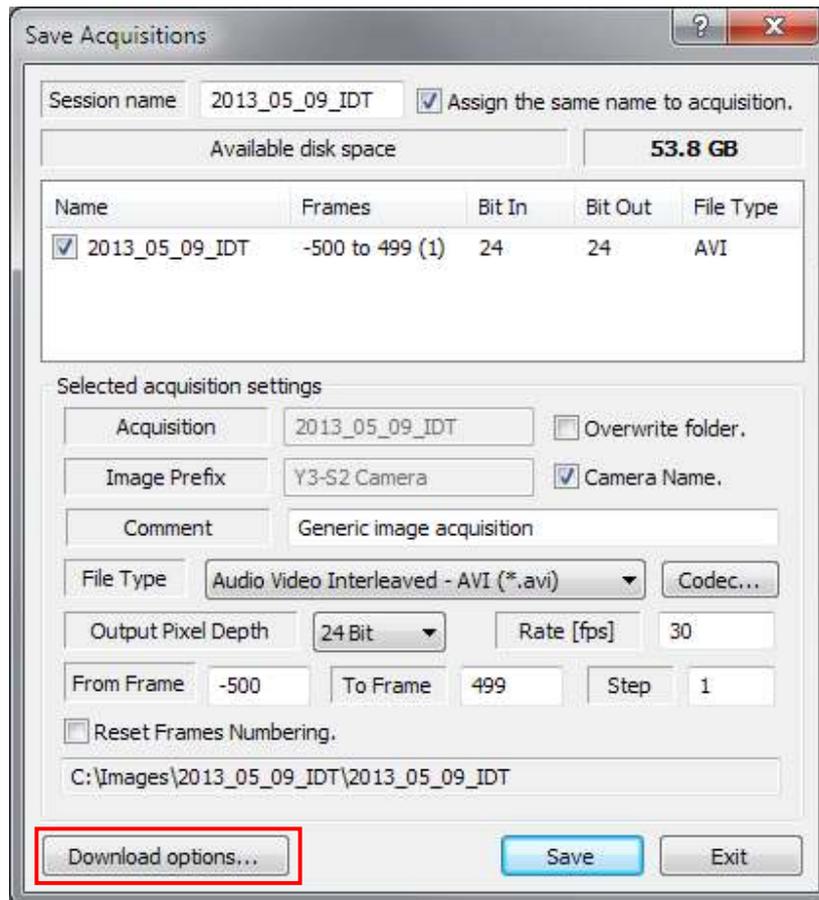
同じ名前をこのアクイジションにつける

アクイジションフォルダーの名前とテストセッションフォルダーの名前を同じにします。アクイジションを2つ以上保存する場合は、上書き防止のために数字がフォルダー名の最後に追加されます。

アキュイジションフォルダー名

決められたアキュイジションフォルダー名の最後に数字が追加される形で作られていきます。例えば“Acq”の場合は“Acq_000”、“Acq_001”、のように続きます。

“アキュイジションの保存” ダイアログボックスも改善されました。



2.4. ロウ コンバータ

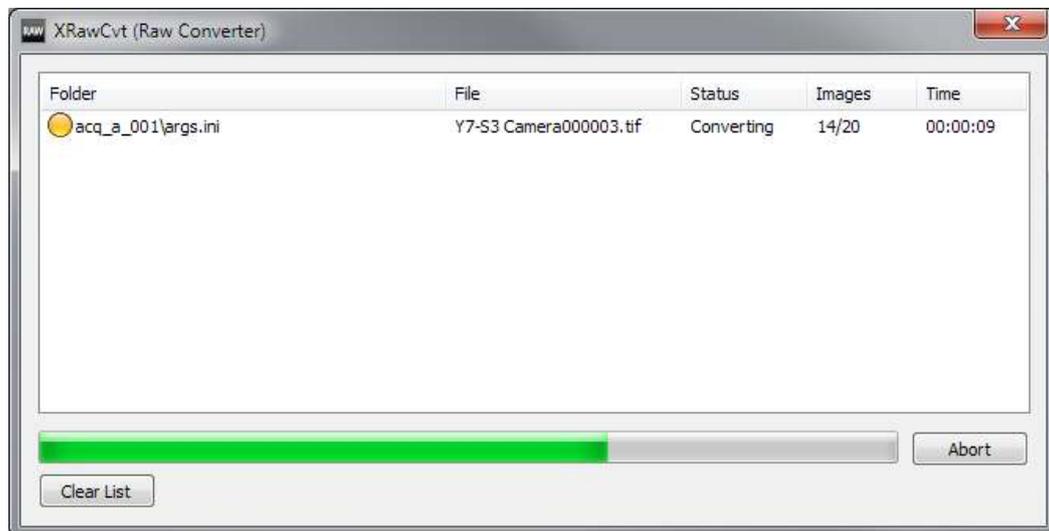
ロウ コンバータのインターフェースが改善されました。



ロウ コンバータのアイコンがタスクトレイに表示される場合

- 赤: コンバート中
- 緑: コンバート完了

アイコンをクリックすると、ロウコンバージョンマネージャーの画面が表示されます。



2.5. オプション / カメラ

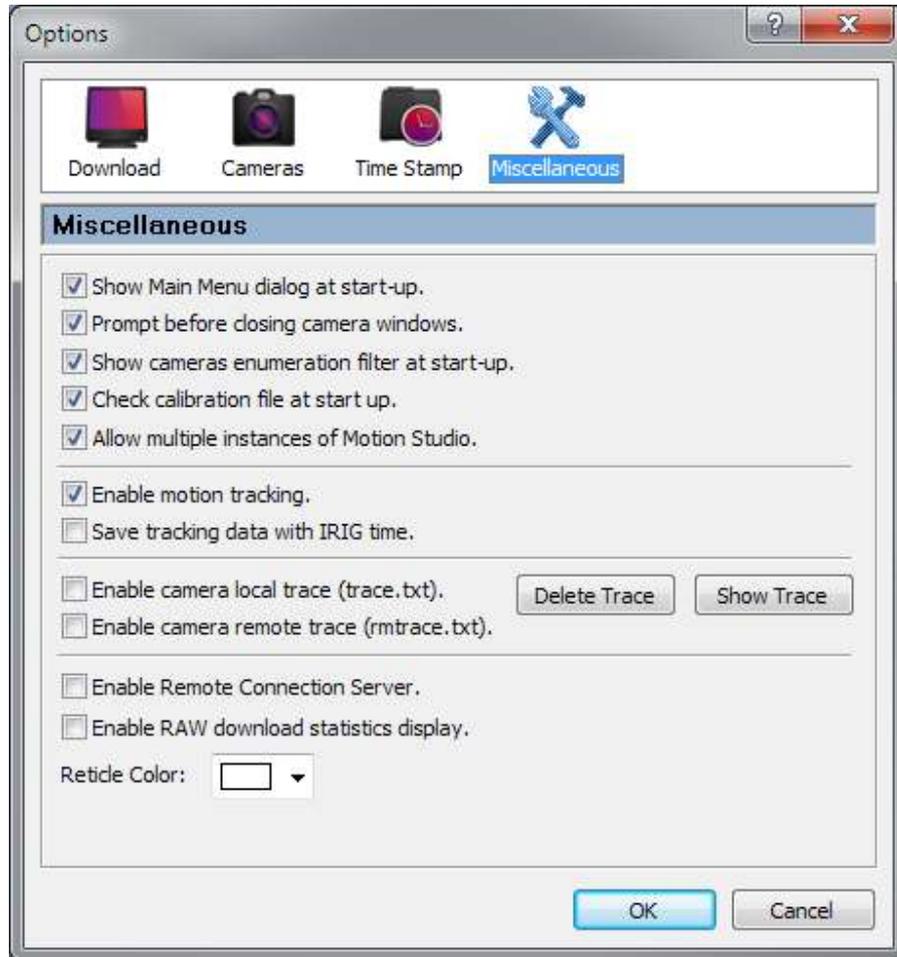
カメラのページに、追加または削除されたアイテムがあります。



“Motion Studio でカメラを立ち上げた時に、前回の設定で自動的に録画を開始する” オプションが、“アキュイジションコンフィギュレーション” ダイアログボックスに移りました。

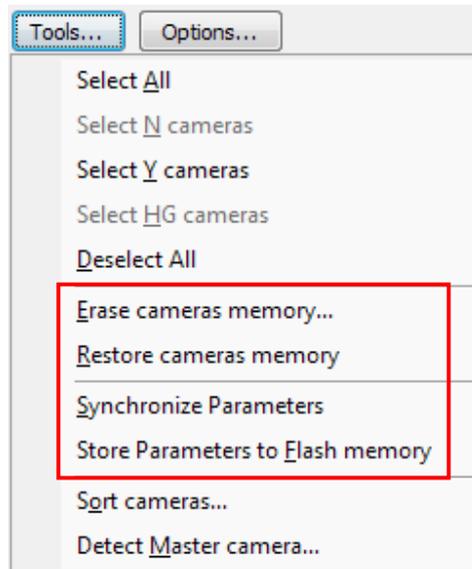
2.6. オプション / その他

“ISO/MME データを保存する” パラメータが、“ダウンロード” ページに移りました。



2.7. カメラリスト

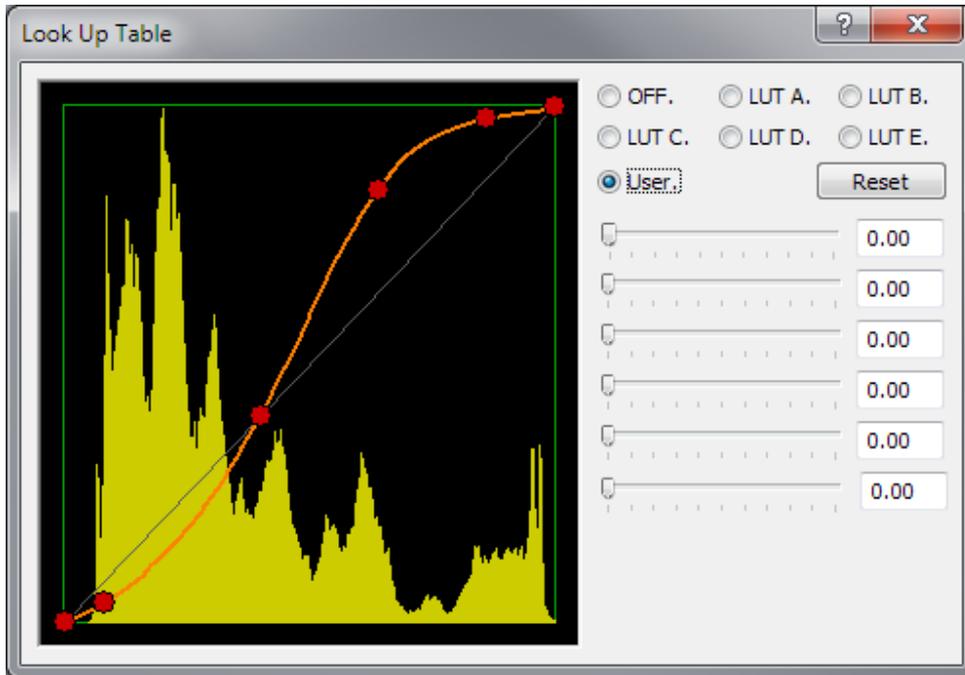
カメラリストに新しいオプションが追加されました。



- **カメラメモリーを削除します:** カメラメモリーを削除します。画像も削除されますが、後で復元することが可能です。
- **カメラメモリーを復元:** Motion Studioが、削除された画像を復元します。このオプションはHG カメラではお使いいただけません。
- **パラメータを同期:** 現在開いているカメラのパラメータをコピーし、カメラリストで選択した他のカメラのパラメータを同じに設定します。機種によっては同期不可能なパラメータがありますが、この場合はそのアイテムが赤く表示されます。
- **パラメータをフラッシュメモリーに保存する:** 現在のパラメータをカメラメモリーに保存します。保存後にカメラの電源が切られても、次に電源が入られた際に保存されたパラメータが有効になります。

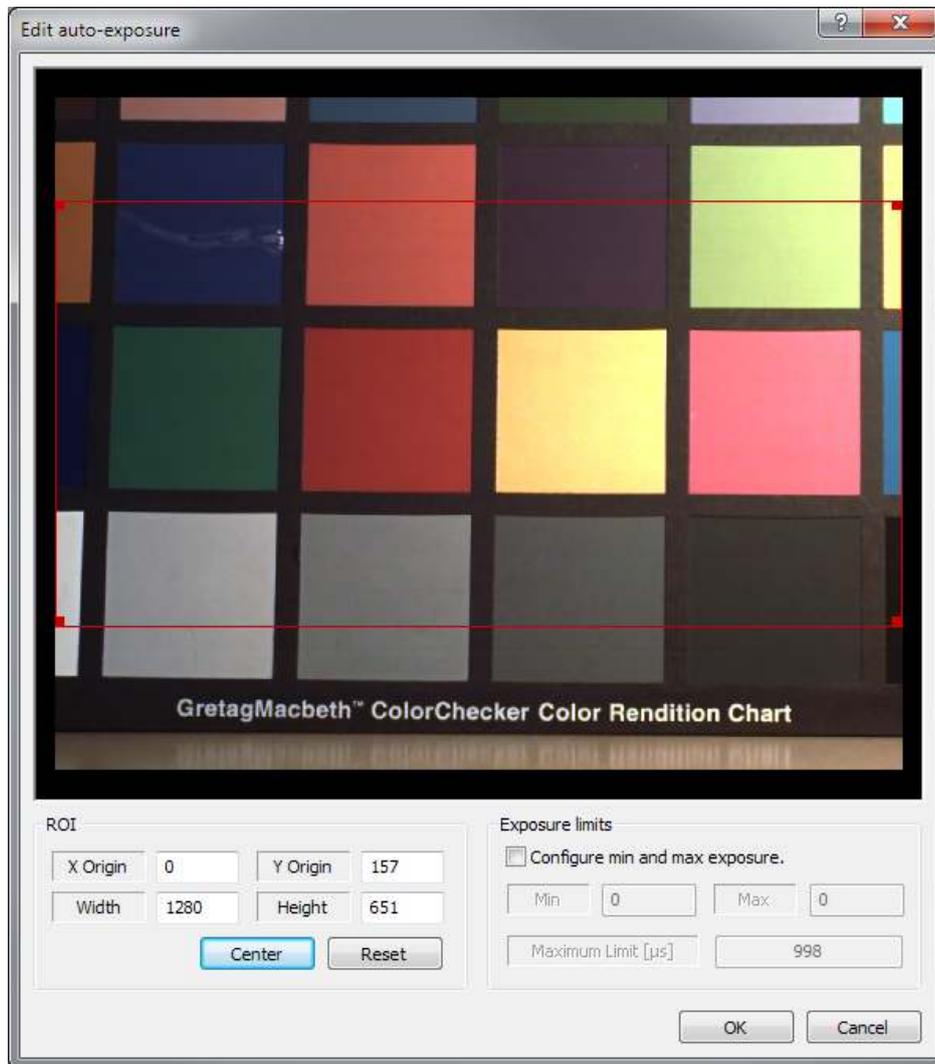
2.8. LUT (ルックアップテーブル)

デフォルトのルックアップテーブルが追加されました(LUT E)。



2.9. 自動露光

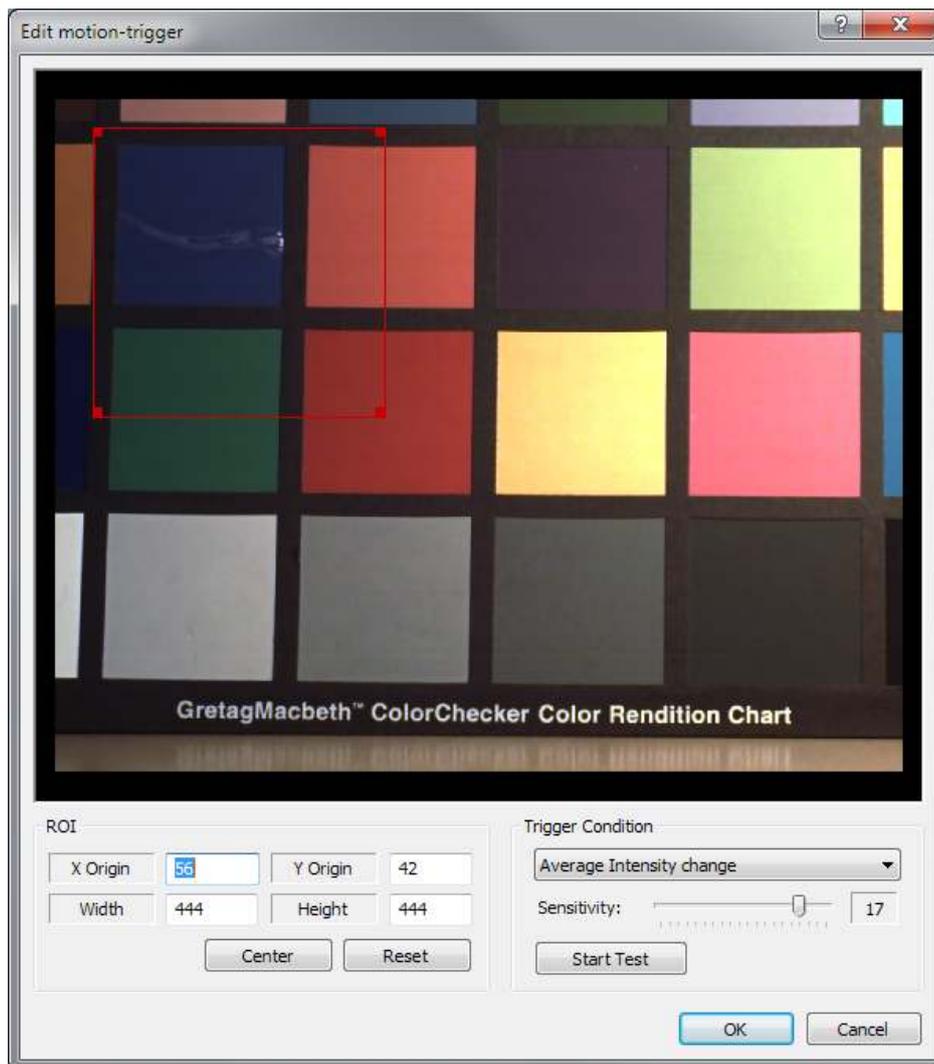
自動露光のダイアログが変更されました。X, Y, 縦, 横の値を設定できます。



2.10. モーショントリガー

モーショントリガーの手順が変更になりました。

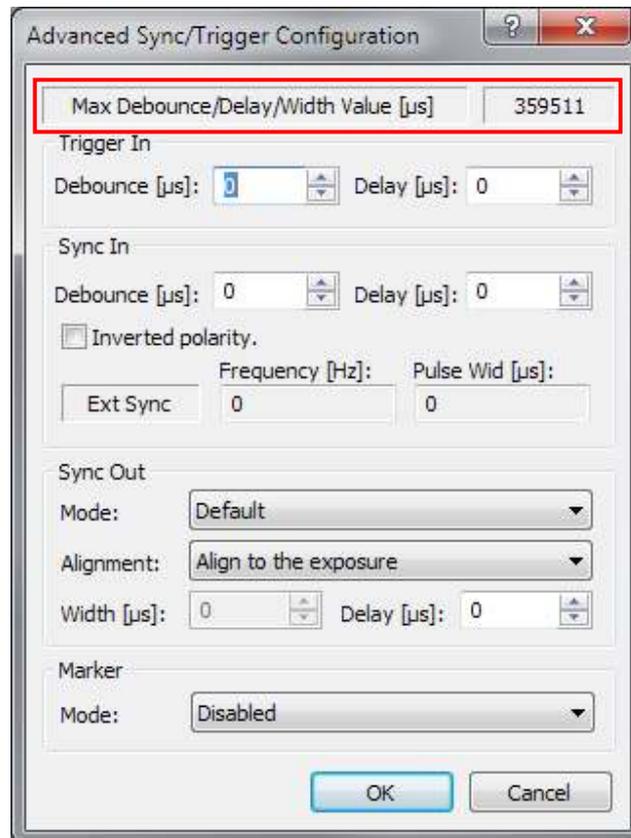
1. カメラタブの“編集”をクリックし、ダイアログを開きます。ROIを任意で変更します。



2. トリガー条件の種類と、感度の値(1が低感度、20が高感度)を任意で変更します。
3. “テストを開始”をクリックし、セットしたパラメータをテストします。トリガー条件が整うと、赤い枠が緑に変わります。
4. OKをクリックしてモーショントリガーを有効にします。赤い太枠がライブ画像に表示されますが、位置もサイズも変更することもできません。これらを変更する場合は“編集”をクリックします。

2.11. トリガー詳細設定

最大デバウンス/遅延/パルス幅が表示されます。



2.12. その他の変更点

- 現在の画像のスナップショットを jpeg 形式で保存するオプションが追加されました。
- サムネイルとラベルの最適化表示に対応したカメラリストがサイズ変更可能になりました。
- 使用できるロゴ画像の横幅が細かく選択できるようになりました。
- ロウビューワーが初期の N シリーズカメラによって作成されたアドレスリスト付ファイルを表示できるようになりました。
- トリガーホットキーリストにスペースが追加されました。
- GUI のリソースが多数のカメラを同時に開けるよう最適化されました。
- カメラリストのトリガーモード不整合が表示されるようになりました。
- 複数カメラ接続時のライブと再生は、画面に開いているカメラのみで行われるようになりました。
- ロウライトモードが改善されました。
- ホワイトバランスの設定と画像パラメータの編集が、再生画像で可能になりました。
- MME と MII の作成が改善されました。複数カメラ接続時は MME ファイルが 1 つ作成されます。
- 動画の最初のフレームの位置を変更できるオプションを追加しました。